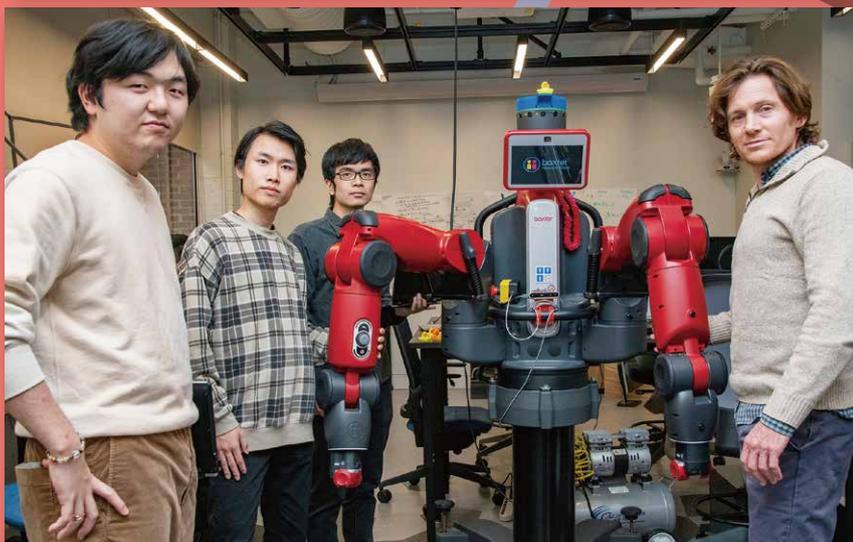


ADVANCE

TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE

豊田工業大学広報誌

vol. 118
MAY 2024



進むなら、
足跡のない方へ。



今ある技術では解けない課題に直面した時、
人は新しい技術を見いだそうと創意工夫をはじめ。
「工学」とは、追い込まれた時こそ輝く学問だ。
楽しもう。悩み、もがきながらも熟中するその時間を。
イノベーションは、生み出す力を備えた
「人」にしかできないことだ。
混沌としたこの世の中を良くするために。
答えのない人生をより輝かせるために。

いま、工学を極めろ。

CONTENTS

2023年度 卒業式・修了式	02
2023年度 卒業・修了生の進路状況	03
聞かせて! あなたの就職活動	04,05
「タグライン」と「ステートメント」を制定	06,07
2024年度 入学式/入試結果	08
TTIC協定留学へ行こう!	09
NEWS FILE/人事紹介/お知らせ	10,11
受賞	12

SCHEDULE 行事予定 (6月~9月)

入試情報

■ 6月15日	高専第3年次編入学試験 (6/28合格発表)
■ 6月15日	大学院修士課程早期卒業予定者対象特別選抜 (6/28合格発表)
■ 7月8日	大学院博士後期課程夏季選抜 (7/28合格発表)
■ 9月4日	大学院修士課程一般・社会人選抜 (9/13合格発表)

学事

■ 7月25日~8月1日	前期定期試験
■ 8月4日~9月10日	海外英語演習 (実施期間は渡航先により異なる)
■ 9月11日~13日	トヨタ生産方式概論

イベント

■ 6月8日	学部1年生対象オープンラボ
■ 7月13日~14日	オープンキャンパス
■ 8月1日	「愛知の発明の日」協賛企画
■ 8月22日~29日	海外協定校学生を招いたサマーセミナー
■ 9月7日~8日	天樹祭、公開講座、オープンキャンパス

2023年度 卒業式・修了式



2023年度卒業式・修了式を3月15日に豊田喜一郎記念ホールで挙行了しました。本年度の工学部卒業生は94名、大学院工学研究科(修士課程)修了生は43名、大学院工学研究科(博士後期課程)学位取得者は5名です。

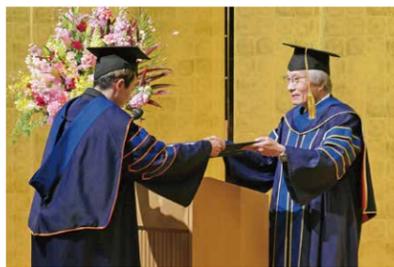
はじめに保立和夫学長から、学部代表の吉野草太さん(知能数理研究室/米子東高等学校[鳥取県]出身)、修士代表の明瀬大和さん(情報記録工学研究室/西尾高等学校[愛知県]出身)、博士学生の辻村有輝さん(知能数理研究室/岡崎高等学校[愛知県]出身)に、それぞれ学位記が授与されました。

保立学長は、「本学での学修と研究活動において「理解」と「研究」を追求する中で「論理的思考力」を鍛えられ、「自ら学び考えることが習性となった存在」へと近づいて来られました。その力を今後とも多方面に伸ばし続けていただきたい」との告辞を述べました。

続いて、学校法人トヨタ学園の増田義彦理事長が、「皆さんが本学で先生方と共に歩んで体得されたことは、間違いなく新しい時代を作る担い手として強力な原動力となります。深い思考を大切に地道に切磋琢磨の努力を継続して欲しい」と激励しました。来賓の方々を代表してトヨタ自動車株式会社 Executive Fellow河合満氏より、「皆さんには基礎的な学力も、寮生活で培ったチームワークを大切にす



増田義彦 理事長



博士学位を授与する保立和夫学長

心も、すでに備わっていると思います。あとはそれを糧にして、建学の理念の意味するところを今一度しっかりとかみしめて、自信を持ってチャレンジしてみてください

続いて在校生代表の大谷竜平さん(マイクロメカトロニクス研究室/瑞陵高等学校[愛知県]出身)による送辞が贈られた後、学部卒業生代表の所京太郎さん(知能情報メディア研究室/岐阜北高等学校



トヨタ自動車株式会社Executive Fellow 河合満氏

[岐阜県]出身)と大学院修了生代表の三星響さん(表面科学研究室/浜松西高等学校[静岡県]出身)より、「恵まれた環境において、一層研究や学修に打ち込むことができた」「かけがえのない経験や人間的な成長を果たすことができた」と、謝辞が述べられました。

最後に、学業・成績・人物共に特に優秀な卒業・修了生に与えられる「豊田奨学基金賞」および「派遣企業の会 社会人学生優秀賞」が授与されました(P.12掲載)。



式典の様子(動画)はホームページをご覧ください。保立学長の告辞、増田理事長の祝辞全文も公開しています。

2023年度(令和5年度) 卒業・修了生の進路状況

✓就職決定率 **100% 達成** ✓第一志望への就職率 **89%**

卒業・修了予定者の進路(就職は内定状況) ()は昨年実績人数 (名)

	学部			修士課程			博士後期課程		
	社会人	一般	留学生	社会人	一般	留学生	社会人	一般	留学生
企業復帰	10(11)			1(2)			2(0) ^{*2}		
就職		22(22) ^{*1}			39(44)			2(1) ^{*2}	1(0) ^{*2}
進学		62(50)			3(1)				
その他(未定・帰国等)					0(1)	0(1)			
卒業・修了者【満了者】	10(11)	84(72)		1(2)	42(46)	0(1)	2(0)	2(1)	1(0)
合計	10(11)	84(72)		1(2)	42(46)	0(1)	2(0)	2(1)	1(0)
		94(83)			43(49)			5(1) ^{*3}	

※1: 学部1名(一般・就職)は9月末卒 ※2: 博士後期1名(留学生・就職)は6月末修了、2名(社会人・企業復帰、一般・就職)は9月末修了 ※3: 満了者は合計には含まない

一般学生の就職先企業(五十音順) (名)

学部(22名)	
アイシン	1
KSK	1
三建設備工業	1
ジェイテクト	1
デンソーテクノ	1
東海理化	1
豊田合成	1
豊田自動織機	2
トヨタ車体	1
豊田通商システムズ	1
トヨタテクニカルディベロップメント	1
トヨタ紡織	1
HIP	2
ビーネックスソリューションズ	1
フォトロン	1
富士ソフト	1
三菱電機	2
村田製作所	1
メイテック	1

修士(39名)	
アビームコンサルティング	1
イシダ	1
イビデン	1
NSソリューションズ中部	1
NTT研究所	1
NTTドコモ	1
クボタ	1
島津製作所	1
ソニーセミコンダクタソリューションズ	1
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	1
デンソー	2
東海理化	1
東海旅客鉄道株式会社(JR東海)	1
トヨタ自動車	7
豊田自動織機	1
豊田通商システムズ	1
トヨタ紡織	1
ニチハ	1
negocia	1
パナソニック	2
浜松ホトニクス	1
日立ハイテック	1
フューチャー	1
古河電気工業	1
本田技研工業	1
MARUWA	1
三浦工業	1
三菱電機	1
ヤフー	1
ヤマハ発動機	1
LIXIL	1

参考 一般学生の就職先企業 累積上位(学部・修士 1995年~) (名)

アイシン	123
トヨタ自動車	117
豊田自動織機	69
デンソー	68
豊田合成	41
三菱電機	39
本田技研工業	38
矢崎総業	37
ジェイテクト	35
トヨタ車体	32
東海理化	31
トヨタ紡織	30
トヨタシステムズ	18
ソニーグローバルGM&O	18
住友電気工業	17
アドヴィックス	16
ダイキン工業	16
パナソニック	15
ダイハツ工業	15
愛三工業	14
フタバ産業	14
キヤノン	13
スズキ	13
協豊製作所	12
トヨタテクニカルディベロップメント	12
小島プレス工業	11
日野自動車	11
日本精工	9
トヨタ自動車東日本	8
日立製作所	8

就職指導 Q & A

就職実績の「強さ」はどこにあるのか、学生支援センターに聞いてみました。

Q 就職決定率100%の秘訣はなんですか?

A 大前提として、本学の学生が学業でも研究でもよく鍛えられているということがあってと思います。さらに卒業・修了生が就職後、各企業で活躍していることも大きな要因だと思います。各企業から推薦求人が多くあることから本学への信頼の厚さを感じられます。また、少人数教育の強みを活かし、各学生の就職状況を教職員が細かく把握していることも要因だと考えています。

Q 本学のキャリア支援の強みを教えてください。

A 本学の学生支援センターでは、入学当初から学生が気軽に相談できるよう学内発信を強化

しています。そのため、日常生活の相談なども含め、1年生から学生支援センターを利用する学生が多いのが特徴です。相談を受ける職員は学生の研究室での活動はもちろん、学生の強みや性格なども理解することができ、それにより各学生に合った就職指導ができていると思います。そこが本学の強みですね。

Q キャリア支援をしていく上で重要視していることはなんですか?

A 学生と企業のマッチングを一番に考えています。安易な就職指導をするのではなく、学生個人に自己分析を行うよう促し、自分の強み・弱みを理解した上で、学生本人に合った企業の

採用試験に挑むように指導しています。



平田 博信 学生部副部長/学生支援センター



あなたの就職活動

File 01

あなたの就活スピーチ

やっぱり、熱意です



学部

上水流 拓磨 さん(豊田工業高等専門学校[愛知県]出身)

内定先

株式会社豊田自動織機 研究室
固体力学研究室

研究テーマ

骨組ミクロ構造からなる3次元構造体のマクロ構造とミクロ構造の同時最適設計法

自分の強みを活かした就活

高専で寮生活を送っていたこともあり、先輩を頼ったり、後輩の面倒をみたり、同期と助け合ったりという環境が自分にとっては当たり前の中で、「人とのつながり」を大切にできる姿勢が身についているように思っています。この自分の強みを豊田工大での学修でも発揮し、第一志望の企業からの内定獲得につなげることができました。

手にした機会を大切に

幼いころからモノづくりに興味があり、エンジニアを目指していましたが、3年次後期に受講した学外実習での体験を通じ、実際に社会で働くイメージをより具体的にすることができ、自分の将来とじっくり向きあった上で就活に挑むことができました。実習中は、広いオフィスフロアに自分の席を用意していただき、社員の方々のご指導のもと

業務に取り組む中、空き時間には「ランニングにいかない?」と誘われたりすることも。そういう有難いお声がけには必ず応え、それを手掛かりにネットワークを広げていきました。自分次第で人的ネットワークは、どんどん広がります。当然、そこから得られる情報は量も質も変わってきます。与えられた機会ではありますが、学外実習を自己成長の機会として最大限に活かしたのは、臆することなく人とつながり、そのつながりに感謝できたことだと思います。研究するうえで仕事をやるうえで一人で完結できることなんてほとんどありません。高専での経験に加え、豊田工大での学外実習や研究室での生活を通じて知った「協働」することの楽しさや喜びを今後も感じながら、皆さんと共に成長していきたいです。

File 02

あなたの就活スピーチ

周りの人の支えで
手にした内定



学部

山本 零士 さん(愛知高等学校[愛知県]出身)

内定先

株式会社村田製作所 研究室
表面科学研究室

研究テーマ

アルコール触媒化学気相成長法を用いたカーボンナノウォールの合成

自分をアップデートし続けられる環境で働く

「自分らしいライフスタイル」を創造していくにはどうすればよいかを深く考え、企業研究を重ねました。自分のこれからの人生を踏まえて考えたときに、内定先の事業内容や就業環境などが魅力的であったため希望しました。

海外拠点が非常に多く、日本を代表するグローバル企業の一つであるため、常に世界を意識して就業できる、その環境にも強く惹かれました。また、自分の適性も見極め切れていない若い世代にとって、異なったフィールドにも挑戦できるよう、業種が固定されていないのも自分の目指す方向性と合致していると思っています。

コロナ禍に甘んじず、成長の機会を自ら創る

コロナ禍に機会が奪われる中でも、大学の仕組みなどをフルに活用し、自己成長につなげることができました。自分が内定先を志望するに至ったのは、それら大学での学びを通じて自己分析が十分にできたからだと思っています。

学部3年生の時には、「大樹祭実行委員長」にチャレンジ。コロナ禍により、メンバー全員が平常時における大学祭を知らない中で、多くの人と一つのものを作り上げていくことの難しさを通じ、組織づくりに取り組みながら、チームで目標達成を目指すマネジメントに興味をもちました。

また、自分の活躍できる領域を広げるためにも英語能力の向上は不可欠だと考え、iPlaza*活動にも積極的に加わりました。ここでもコロナ禍の影響から、オンライン活動を余儀なくされましたが、それはそれとして現状を受け入れ、できることに精一杯取り組んだ結果、学外の国際交流の機会に飛び込めるほどの「度胸」がつかえました。家族をはじめ、研究室の先生方や先輩、同期の友人、寮やサークルの仲間など、「小さな大学ならではの距離感」で得られた支援や関わりも、私の大学生活をより充実したものにしてくれました。その方々への感謝を胸に挑戦し続けたいです。

*International Communication Plaza

File 03

あなたの就活スピーチ

未来を、
仲間と切り拓く



修士

坂本 美雨 さん(基町高等学校[広島県]出身)

内定先

トヨタ自動車株式会社 研究室
情報記録工学研究室

研究テーマ

ナノインプリントリソグラフィを用いたスピンドライバに関する研究

自分の“可能性”を感じる経験

これから社会に出るにあたり、不安ももちろんありますが「なんとかなる」と前向きに考えることができている。それは、学生時代のさまざまな経験を通じて自分の「可能性」と向き合い、そこから得た「自信」が自分自身の支えになっているからです。その「自信」を最も養うことができたのは「修士海外学外実習」での経験です。

海外でも生かされた豊田工大での「日常」

私は英国のヨーク大学で8週間の実習を行いました。豊田工大の指導教授、現地研究室の教授と私による事前のオンライン会議で研究テーマを設定。そのあとは、すべて自分でアレンジする必要があり、思い通りにはいかないことばかりでした。例えば、学生寮があるのに一部期間が利用できず、ホテル探しも簡単にはいかず、渡航までの何もかもが苦労の連続でした。やっとの思いで現地入りした後も、受け入れ研究室のメンバーが夏休みで不在。ほかの研究室の方を頼るほかなく、見たこともない実験装置を前に呆然としました。とはいえ、限られた期間で研究成果を出すためには、立ち止まるわけにはいきません。

豊田工大では、自分一人では解決できない問題に直面した時、ひとりで抱え込まずに周りの友人や先輩と連携しながらさまざまなことに取り組むのが日常であるため、その習慣を海外でも大いに活かし、周りの人と積極的に関わることで慣れない研究環境でも実験を進めることができました。もちろん「助けてください」だけでは何の解決にもなりません。まずは、私自身を理解してもらうための自己開示が必要で、人間関係の構築が不可欠であることも豊田工大での経験を通じて理解しています。これまでさまざまな場面で学んできたことを糧に、就職後も周りの方々とのつながりを通じて自分の可能性を広げていきたいです。

File 04

あなたの就活スピーチ

研究活動の賜物



修士

山崎 樹 さん(小松高等学校[石川県]出身)

内定先

パナソニック株式会社 研究室
エネルギー材料研究室

研究テーマ

室温近傍で動作する熱発電素子の開発

「挑戦したい」という気持ちが縁

企業において、一つの部署にとどまらず、さまざまな部門が持つ課題などについて取り組むことができ、それに伴って、多くの人と関わりを持ちながら業務を進めることができる「品質管理」に興味を持っています。その職域での挑戦を熱望していたことが「縁」となり、内定先における夏のインターンシップの機会を得ることができました。

10日間ほどのインターンシップではありましたが、自身が研究室で培ってきた「力」を大いに発揮し、成果を出せたのは大きなアピールポイントになったのではないかと考えています。

研究室の環境で培った力

研究室では、週1回開催される進捗報告会で先生方やメンバーとコミュニケーションがとれる環境に加え、いつでも気軽に相談できる

よう、指導教員の先生は体制を整えてくださっています。3年間そういった環境に身を置き、そこで日々繰り広げられる活発な議論などを通して、研究を進める際は、結果だけを追い求めるのではなく、一つひとつの事象に対して理由付けができ、納得が得られるまで考察する習慣を身につけることができたように思っています。研究室の方々のサポートによって思考力を養ったことに加え、実際の研究活動を通じ、自分自身でも実践力を向上させることができたように思っています。例えば、1つの素子を作り上げるには多くの工程を必要としますが、想定した結果が得られなかった場合、すべての工程を洗い出す必要があります。そういった粘り強さが要求される研究活動を通じて、必要とされる創造力や課題解決能力などは、どんどん向上していきます。こういったさまざまな「力」はどの場面でも通用するという点を就活の場で実感することができ、社会人としてやっていく上での自信になったように思っています。

「タグライン」と「ステートメント」を制定

本学の特長や強みを私たち自身も再認識し、これからも錬磨を重ねていく決意を社会に向けて宣言するために、「タグライン」と「ステートメント」を制定しました。この取り組みは、大学の存在意義を社会に広く伝えるとともに、教職員が持つ共通した「想い」を端的な言葉にすることで明文化し、今後の方向を指し示すことも目的としています。困難で不確かな未来に立ち向かえる強さと豊かな人間性を兼ね備えた、社会や人々に喜びを与えられるイノベティブな技術者・研究者を育成したい。それが、私たちの想いです。



豊田工業大学ブランディングムービーを制作

「タグライン」と「ステートメント」がイメージとして伝わるように本学初となるブランディングムービー「進むなら、足跡のない方へ。」を制作しました。



こちらからご覧ください



豊田工業大学 タグライン

進むなら、足跡のない方へ。

Go Forward, Beyond the Frontier

豊田工業大学 ステートメント

今ある技術では解けない課題に直面した時、人は新しい技術を見いだそうと創意工夫をはじめ。【工学】とは、追い込まれた時こそ輝く学問だ。楽しもう。悩み、もがきながらも熱中するその時間を。イノベーションは、生み出す力を備えた【人】にしかできないことだ。混沌としたこの世の中を良くするために。答えのない人生をより輝かせるために。

いま、工学を極めろ。

「タグライン」と「ステートメント」について

「タグライン」は、ブランドの理念やコンセプトなど不変的なものを表します。思いやビジョンを端的な言葉にして強調します。一方、「ステートメント」は組織や企業の使命やビジョン、価値観を詳細に示す文書であり、組織の方向性を示すためのものに用いられます。以上のように「タグライン」と「ステートメント」は、それぞれ異なる役割を担っています。

Scene1

実験に打ち込むシーンは、高分子化学研究室の実験室にて撮影しました。何かに気がついて顕微鏡を覗き込む姿から、大海原に出て双眼鏡で地平線の彼方を見つめる場面に変化します。船上で海風を感じる様子は東京湾で撮影しました。

Scene2

悩みながら窓ガラスに数式を書き込むシーンは、知能情報メディア研究室の実験室にて撮影しました。腕を伸ばして書き出す姿から、ロッククライミングで岩場に手をかける場面に変化します。豊田市にある古美山園地の岩山で撮影しました。

Scene3

実験機器に囲まれたシーンは、熱エネルギー工学研究室の実験室で撮影しました。両手で装置を操作する様子から、車で砂漠を駆け抜ける場面に変化します。

Director Comment



ディレクター 村山 和也さん

海外の大学のような開放的な雰囲気と、充実した研究室の環境が素晴らしいと感じました。ここで好きなことを勉強できるのは、本当に幸せなことですね。羨ましい限りです。撮影に関しては、学生の皆さん、先生方や職員の方々もとても協力的で、こんなに楽しい撮影現場はめったにないという、貴重な経験をさせていただきました。この映像をきっかけに、真っさらな道に進んで、足跡を残す人たちが出てくることを心から願っています。

Casting



小畑 依音さん



椿原 慧さん

2024年度 入学式

2024年度入学式を4月1日に豊田喜一郎記念ホールにて挙行し、工学部100名(高等専門学校からの編入生4名を含む)、大学院工学研究科(修士課程)50名、大学院工学研究科(博士後期課程)6名(2023年10月入学2名を含む)の計156名が入学しました。

保立和夫学長は、「学修」活動においては「理解」することに拘り、「研究」活動も通して、「論理的思考力」をはじめとした「汎用力」も涵養して



保立和夫学長

欲しい」との言葉を贈りました。

続いて、学校法人トヨタ学園の増田義彦理事長から「健康を第一に、誤りや失敗を恐れず、仲間や教員と語らい、これからの学生生活を自分なりに思い切り過ごしてください」と激励しました。

来日中の豊田工業大学シカゴ校(TTIC)のMatthew Turk学長から期待の祝辞を述べられました。

新入生を代表して、学部生の神谷光玲さん(岐阜高等学校[岐阜県]出身)、大学院の松本一希さん(可児工業高等学校[岐阜県]出身)がそれぞれ誓いの言葉を述べ、これから始まる新たなステージにおいて、勉学や研究に励もうとする熱い意気込みについて語りました。



豊田工業大学シカゴ校(TTIC) Matthew Turk学長



式典の様子(動画)はホームページをご覧ください。保立学長の式辞と増田理事長の祝辞全文も公開しています。

2024年度入試結果(4月1日時点)

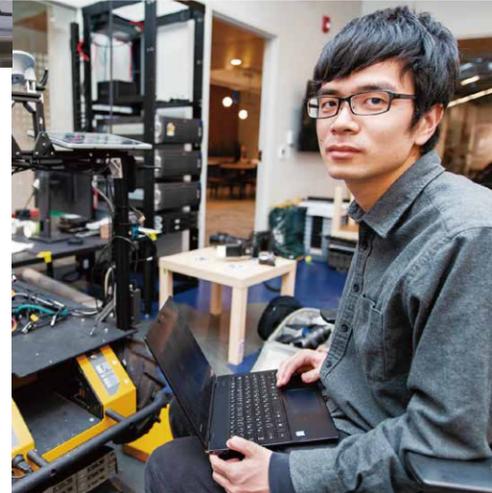
		入試区分	入学定員	募集人員	志願者	合格者	入学者(名)
工学部	一般選抜	一般入試	100	40	975	191	30
		大学入学共通テスト利用入試		25	625	307	31
	学校推薦型選抜	公募推薦入試		17	23	13	13
		指定校推薦入試			高校にお問い合わせ下さい		
	特別選抜	帰国生徒入試		1	0	0	
		国際バカロレア入試		若干名	-	-	
		外国政府派遣留学生入試		-	-	-	
	社会人入試(内 編入学試験)	18(若干名)	21	17	17		
	高等専門学校卒業予定者を対象とする第3年次編入学試験	6	6	19	17	17	
大学院修士課程 入学試験	一般選抜			69	53	50	
	学部3年次対象特別選抜		45	-	-	-	
	社会人特別選抜		-	-	-	-	
	ダブル・ディグリー留学生入学資格審査		若干名	-	-	-	
大学院 博士後期課程 入学試験	夏季選抜			-	-	-	
	冬季選抜	12	12	3	3	3	
	留学生特別選抜			3	3	3	

*一般選抜には、追加合格者を含む

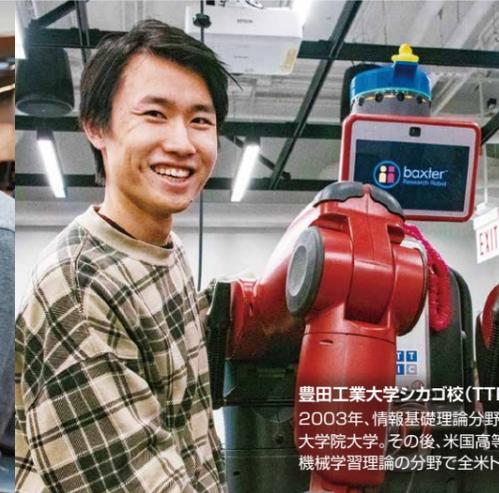
TTIC協定留学へ行こう!



世界トップレベルの講義と研究指導を受けることができる「TTIC協定留学」。「留学」と聞くと「語学留学」をイメージしますが、「語学力向上」を目的とする留学とは異なり「学びたい!」と思い立ったらすぐTTICへ出発、という訳にはいきません。早い段階から自分自身で能力を磨き、大学の手厚いサポート^{*1・2}のもと、万全を期して2023年秋にTTICキャンパスに向け出発した、修士学生の3か月間の留学体験談をお届けします。



相津 知晴さん(時習館高校[愛知県]出身)
修士2年/知能情報メディア研究室



新保 克樹さん(前橋高校[群馬県]出身)
修士2年/知能情報メディア研究室



武次 広夢さん(小野高校[兵庫県]出身)
修士2年/知能情報メディア研究室

豊田工業大学シカゴ校(TTIC)とは…
2003年、情報基礎理論分野の博士課程に特化して、シカゴ大学キャンパス内に本学が設立した大学院大学。その後、米国高等教育機関として認証を得て、本学とは姉妹校として連携。現在では機械学習理論の分野で全米トップクラスの評価を受けています。

早い段階から目標を定め、 自らの手でチャンスを掴む

相津：入学時にこの制度に関するパンフレットを手にした時点で留学を目指すことを決断し、早々と両親に話をしました。費用面は留学のための給付奨学金^{*1}のおかげで考慮する必要がないので、留学をするための学習を始めました。大学院(修士課程、博士後期課程)に在学している学生が本制度の対象ですが、工学部在学中から「TTIC留学奨励制度^{*2}」を利用し留学に向けた英語力の向上に努めました。加えて、日々の学修を怠らずに学力をつけました。これらは名古屋にある本学のキャンパスでもできることでもあり、留学に必要な能力です。留学に行き自分自身を成長させることを学生生活の一つの目標としたことで、モチベーションを維持できました。その結果TTICに留学することができ、素晴らしい経験ができました。振り返ってみても、早期から対策をしたことが良かったと思います。

TTIC・シカゴ大生と共に 高度な内容を学ぶ

新保：私はTTICで「Fundamentals of Deep Learning」を受講しました。最先端の論文が扱われるほど授業のレベルが高く、ついて行くのが大変でした。ただ、私たちだけではなく、TTICやシカゴ大学の現地の学生もかなり大変そうで、小テスト(実際には「小」ではなく、3時間くらいかけて取り組むテスト)には皆、悪戦苦闘していました。途中で脱落してしまう現地学生がいる中、TTICの学生と一緒に勉強するなどして乗り越え、単位を取得できたことは大きな自信になりました。もう、こうなると語学の問題など二次、難しい問題も臆せず、とにかく思考をやめない。「やるしかない!」と、学部時代からの学修や研究で養った「粘り強さ」が活かされたと思います。3か月という短い期間を充実したものとするためには、時には楽観的に、難題を楽しむぐらいの精神力は必要かもしれません。

アメリカの真の“多様性”を 研究室で実感

武次：「ソーシャル・ロボティクス」について学んでいる私にとって、TTICはまさに「世界の最前線」。日常的な議論ですら、すべてが刺激的でした。単に知識を得ることは、ほかの場でもできるかもしれませんが、多様な国籍の人が集うことでしか得られない経験という、研究室の一員として過ごしたことだと思っています。研究を進めていく上でメンバーとのコミュニケーションは欠かせないものですが、TTICでは多様な視点を受け入れる寛容さに満ち溢れていて、自然と議論が活発になります。また、社会に対してもオープンで、地域の子どもを招いて研究を紹介することにも積極的です。このように「発信することをためらわない」ことで、誰にでも共感してもらえるような、より本質的で世の中にインパクトを与えるような研究への意欲が生まれるのではないかと「世界の最前線」の真髄に触れたように思います。



国立公園に出かけたり、シカゴの街を散策したり、みんなでおいしいものを食べたり…そんな海外生活を楽しむ時間も、もちろんあります。

*1 奨学金制度 / 「豊田達郎奨学金奨励費」申請に基づいて留学に必要な渡航費・滞在費を支給。「豊田奨学金奨励費」審査に基づいて月額10万円を上限に無利子で貸与。
*2 TTIC協定留学志望者に対し、学部在学中から目的意識と英語力の段階的な養成をサポート。

人事紹介

新任



一般教育分野 工学基礎(情報)

山口 文彦 教授

2011年5月 東京農工大学 特任講師
2014年3月 東京農工大学 特任准教授
2015年4月 長崎県立大学教授
2024年4月 本学教授に就任

主な研究分野

興味を持っている分野は大きく二つに分けられます。一つは、推論の記号処理的なモデル化および計算機によって推論を行うためのアルゴリズムです。もう一つは、さまざまなアルゴリズムを人文科学的な分野に応用することです。特に、自然言語処理の手法を考古学的な未解読言語に適用することで解読につながる情報を抽出することに挑戦しています。

新任



マイクロメカトロニクス研究室

孔 徳卿 准教授

2018年4月 東京工業大学 PD研究員
2020年4月 室蘭工業大学 助教
2024年4月 本学准教授に就任

主な研究分野

ナノメートル微小振動を効率よく励振するため、材料技術、音響・超音波技術とMEMS加工の工学の知見と学問を展開しています。アクチュエーションを中心として、高周波数(MHz帯)素子によるマイクロロボットと流体音響デバイスの開発を行っています。将来的に液中ドローン・血管内ロボットなどの医療デバイスの創成を目指します。

昇格



知識データ研究室

三輪 誠 教授

2011年 マンチェスター大学
リサーチアソシエイト
2014年4月 本学准教授に就任
2024年4月 本学教授に昇格

主な研究分野

文書や実験データなどさまざまなデータに埋もれた知識や情報、経験を抽出・整理し、検索や推論を通して、深い内容理解や新たな知識発見につなげる、知識処理・深層学習技術に関する研究を行ってきました。人工知能のさらなる進展や幅広い活用のために、知識や情報、経験を基に深く考える次世代人工知能の実現を目指しています。

新任



一般教育分野 社会科学(心理学)

池田 琴恵 教授

2014年4月 東京福祉大学/短期大学部 助教/講師
2018年4月 至学館大学 助教
2021年4月 至学館大学 准教授
2024年4月 本学教授に就任

主な研究分野

心理学を専門としています。研究テーマである「エンパワメント」は、人々や組織、コミュニティが自分たちの問題を統制する力を獲得するプロセスまたはそのメカニズムを意味します。さまざまな領域で用いられている概念ではありますが、未だ十分な実証研究が行われていません。エンパワメントの測定尺度およびエンパワメントを促す実践方略の開発を通じてエンパワメント理論の確立を目指しています。

新任



触媒有機化学研究室

土屋 直輝 助教

2019年3月 山口大学工学部応用化学科卒業
2021年3月 山口大学大学院創成科学研究科化学系専攻修了
2024年3月 山口大学大学院創成科学研究科
ライフサイエンス系専攻修了
2024年4月 本学助教に就任

主な研究分野

現代の有機合成において、反応を効率的に進行させるために触媒を利用する機会が増えており、既存の触媒よりも高性能かつ環境に配慮した触媒を開発することが求められています。これを達成できる触媒を新たに開発し、有機合成反応に応用させる研究を行っています。特に分子サイズの固定化触媒に着目し、環境に配慮した高機能触媒開発に挑戦しています。

FILE-01 イベント開催

第36回半導体プロセス実習・講習会(3/8)

産 業界からの要望に応じて、1986年から実施している半導体プロセス実習・講習会は、中部地域を中心とした産学官の半導体分野の方々から高い評価をいただいています。国内の大学において、最大級の規模を誇るクリーンルームで実際に半導体微細加工技術の共通基盤を体験いただきました。体験と講習を通じて、新領域を開拓する人材の育成にも貢献しています。



FILE-02 イベント開催

第4回次世代文明センターシンポジウム(3/6)

本 学教育・研究センターである次世代文明センターのシンポジウムを対面とオンラインの同時配信で開催しました。今回のテーマは『生成AI時代の「人間」と「社会」のゆくえを問う』と題して、岡崎直観先生(東京工業大学教授)と、神崎宣次先生(南山大学教授)にご講演いた

きました。両先生のご講演の後、センターの江口建センター長と原大介教授を交えたパネルディスカッションを行い、人間社会の未来とこれからの時代の教育について、参加者と一緒に深く考える時間となりました。



前列中央左：岡崎先生、同右：神崎先生

2024年3月31日をもって、5名の教授と2名の事務職員が定年退職を迎えました。

定年退職



情報記録工学研究室

栗野 博之 教授

2009年10月に本学着任、研究分野は電子情報分野(スピントロニクス、光・磁気記録)。最終講義では「スピルマニピュレーションの魅力」と題し、これまで取り組んできた研究内容や成果を踏まえ、学生へのメッセージとして「アンテナを高く持つ」「人生で仕事できる時間はわずか15%」などの言葉を贈った。4月1日付で特任教授に就任。

定年退職



材料プロセス研究室

奥宮 正洋 教授

1985年に本学着任、研究分野は機械システム分野(金属熱処理・表面処理、材料プロセス)。最終講義では「39年間の豊田工業大学での思い出」と題し、先生の教員人生を振り返りました。教育と研究活動、学生や研究員達との交流により国内外に幅広い人脈を持たれたことに感謝されました。4月1日付で特任教授に就任。

定年退職



情報技術研究室

鈴木 峰生 教授

2010年9月に本学着任、2012年7月から2021年9月30日まで総合情報センター部長/副センター長として学内の教育とオフィスのネットワーク環境の整備、セキュリティ面の強化などに尽力した。特にキャンパス刷新工事に際して、ネットワークを新たに構築したことと衛星通信を使用した緊急時における環境の維持に貢献した。

定年退職



電子デバイス研究室

岩田 直高 教授

2013年4月に本学着任、研究分野は電子情報分野(化合物半導体特性、GaNパワーデバイス)。最終講義では「for decades and this decade 感謝とこれから」と題し、これまで取り組んできた先生の研究人生を振り返った。学生に対し「好きなことをやりたいなら、やらなきゃいけないことも好きになれ」とエールを贈った。4月1日付で特任教授に就任。

定年退職



電磁システム研究室

藤崎 敬介 教授

2010年4月に本学着任、研究分野は電子情報分野(モータ駆動システム、磁気、半導体電力変換)。最終講義では「電磁エネルギーシステムの研究開発」と題し、これまで取り組んできた研究内容、成果や苦労について振り返った。建学の理念にもあるように「時流に先んずる」ことが重要であると学生に伝えた。4月1日付で特任教授に就任。



定年退職者歓送会の記念撮影
花束をもつ前列右から
岩田教授、栗野教授、奥宮教授、藤崎教授、稲垣修二経理部長、佐々木広美創造性開発工房GM

イベント情報のお知らせ EVENT INFORMATION

2024年度オープンキャンパス

開催日程	予約	主な内容
5月25日(土)、26日(日)	要	大学概要・入試説明、学内施設見学、個別相談
7月13日(土)、14日(日)	要	大学概要・入試説明、学内施設見学、ラボツアー、個別相談
9月7日(土)、8日(日)	不要	大学祭見学、学内施設見学、大学概要・入試説明

「愛知の発明の日」協賛企画

開催日程	予約	主な内容
8月1日(木)	要	豊田佐吉翁を学び、モノづくりを体験 *小中学生対象20名

公開講座

開催日程	予約	主な内容
9月7日(土)	不要	本学教員による科学技術に関する講演。会場先着順(350席)

大学祭

開催日程	予約	主な内容
9月7日(土)、8日(日)	不要	研究紹介、屋台、軽音楽同好会ライブなど

*詳細は、大学ホームページにて順次案内します。

ご支援のお願い

本学の教育・研究活動にご賛同、ご支援いただける方からのご寄付をお願い申し上げます。ご寄付の際は「**税額控除制度**」をご活用いただけます。



寄付金額
1口2,000円から
[お問い合わせ]
経理部
052-809-1714(直通)
keiri@toyota-ti.ac.jp(E-mail)

【 受 賞 】

学 内

■ 豊田奨学基金 研究賞 研究業績賞・研究奨励賞

〈研究業績賞〉 本学教員が個人または共同で行った研究であり、学術あるいは技術の発展に寄与し、大いに社会に貢献すると認められる研究に対し、その業績を顕彰することを目的として授与する。

〈研究奨励賞〉 本学教員およびポストドクトラル(PD)研究員が本学で行った研究であり、今後の進展が大いに期待される萌芽的研究に対し、さらなる研究推進を奨励することを目的として授与する。

受賞名	受賞者(研究室)	研究業績・テーマ
研究業績賞	竹内 恒博教授 (エネルギー材料)	熱利用材料・素子の基礎および応用研究
研究奨励賞	Ang.Artoni Kevin Roquero PD研究員 (エネルギー材料)	低プロセスコストで作製可能なエネルギーハーベスティング用熱電発電素子の開発



■ 豊田奨学基金賞

学業成績・人物共に特に優秀な学生に授与する。

区分	受賞者	研究室
学部	松本 一希(可児工業高等学校[岐阜県]出身)	知能情報メディア
修士	岡田 海門(平塚江南高等学校[神奈川県]出身)	レーザー科学

■ 派遣企業の会 社会人学生優秀賞

研究・学修に励んできた優秀な社会人学生に授与する。

区分	受賞者	研究室
学部	野村 航平(トヨタ自動車株式会社/美祿青嶺高等学校[山口県]出身)	情報記録工学
修士	荻島 規宏(矢崎総業株式会社/沼津工業高等専門学校[静岡県]出身)	電磁システム

■ 英語優秀賞

学部卒業時に、英語Step-Up Point (E-SUP) 制度*の獲得ポイントが上位の学生に授与する。

受賞名	受賞者	E-SUP ポイント	研究室
英語最優秀賞	寺口 勇作(桃山学院高等学校[大阪府]出身)	474	エネルギー材料
英語優秀賞	平賀 駿介(トヨタ自動車株式会社/科学技術学園高等学校[愛知県]出身)	402	知能情報メディア
	久保田 一真(飯田高等学校[長野県]出身)	332	流体工学

*英語Step-Up Point (E-SUP) 制度…入学から卒業まで継続的に英語を学ぶことを狙いとした本学独自の制度。TOEIC® L&R (公開およびIPテスト)への取り組みをはじめ、各種英語イベントへの参加などを通じてポイントを獲得する。なお、卒業には100ポイント以上獲得することが必要となる。

学 外

各学会から、人格・学業共に優秀であると認められた学生に授与する。

受賞名	受賞者	研究室
日本機械学会 畠山賞(学部) 日本設計工学会 武藤栄次賞 優秀学生賞	篠倉 太郎(半田高等学校[愛知県]出身)	流体工学
日本機械学会 三浦賞(修士) 日本設計工学会 武藤栄次賞 優秀学生賞	坂口 良輔(大垣北高等学校[岐阜県]出身)	材料プロセス
電気学会 東海支部長賞	所 京太郎(岐阜北高等学校[岐阜県]出身)	知能情報メディア
自動車技術会 大学院奨励賞	鳥崎 海広(仙台第二高等学校[宮城県]出身)	固体力学
精密工学会 東海支部 学生優秀賞	篠島 拓馬(名古屋高等学校[愛知県]出身)	固体力学
計測自動制御学会 中部支部 賞優秀賞	吉野 草太(米子東高等学校[鳥取県]出身)	知能数理
計測自動制御学会 SICE 優秀学生賞	松本 一希(可児工業高等学校[岐阜県]出身)	知能情報メディア
	明瀬 大和(西尾高等学校[愛知県]出身)	情報記録工学

